

能羽衣



Noh Hagoromo

能土蜘蛛



Noh Tsuchigumo

TRADE MARK 月印紙製品



株式会社 ヤマガタ

本社：大阪市中央区内本町1丁目1番1号
TEL：06-6941-3171 (代表)

札幌・新潟・長野・東京・静岡・名古屋
京都・大阪・神戸・岡山・広島・福岡
工場/富田林・越谷

http://www.le-yamagata.com

大阪府助成公演

ユネスコ第一回世界無形遺産
今宵の奉迎 新しき御代を尊ぶ

大阪新能

第63回 おおさかたぎのろう

令和元年8月11日(日・祝)・12日(月・振休)

午後5時半開演 午後4時半開場

生國魂神社境内
いくたまさん
電話 06-6771-0002

ヤングNOH能
キッズ&学生
真夏の大会コンクール
令和元年8月11日
午前10時~13時
優秀団体は2日目開演前に発表
ハマってみよう
謡の世界
12日午後3時より
入場無料・ご来場歓迎
雨天の場合は
大阪新能に準じて調整

Osaka Takigi Noh
Dates: August 11th (Sun) / 12th (Mon), 2019 at 5:30pm
Location: Ikutama Shrine
Closest Station: Osaka Metro Tanimachi 9-chome Station
T25-816
Admission: Advance ¥3500, Doors ¥4000,
Doors - Discount for students ¥2000
Contact: Ikutama Shrine TEL 06-6771-0002

提供 ウヰマ 写真工房

入場料(各日) 前売券 3,500円 当日券 4,000円 学生券 2,000円 (当日のみ)
チケットぴあ Pコード786-816 http://pia.jp/
主催 (公社)能楽協会 大阪支部・大阪新能委員会 後援 生國魂神社
助成・補助 大阪市・(公財)東教育財団・(一財)大阪労働者福祉財団

お買物は、
近鉄百貨店で。

Kintetsu
近鉄百貨店

本店 あべのハルカス 上本町店・東大阪店
奈良店・橿原店・生駒店・和歌山店
草津店・四日市店・名古屋店(近鉄バッセ)
abenoharukas.d-kintetsu.co.jp

※画像はイメージです

T-POINT
貯まる!使える!

名物! 黒ホル

情熱水戸

アサヒスーパードライ
生ビール

情熱で黒ホル

GOEN MARUSHINGROUP 大阪市中央区内本町1-1-8 TEL.06-6944-2292

天然酵母のちびだま 贈り物

舞昆

舞昆のこうはら

TEL:06-6775-2345

能月宮殿



Noh Gekkyuden

能吉野天人



Noh Yoshino Tennin

大阪の夏の風物詩として親しまれる「大阪新能」は、今からおよそ470年前、現在の大阪城の場所に生國魂神社が鎮座していた頃の天文15年に、当神社の御遷座を祝い数万の民衆を集め演能されたことに由来する。

昭和31年御社殿復興の折の演能を機に、翌32年に「大阪新能」として、能楽協会大阪支部・大阪新能委員会により始められた。今や国際親善・文化交流の一端も担っている。今後も大阪の誇る文化のひとつとして、次世代へと受け継がれていくことを願う。

What is Osaka Takigi Noh?
Every year on August 11th and 12th at Ikutama Shrine, Takigi Noh performances are held using the light emitted from fire lanterns. It is now an annual event that has become to be known as a signature summer event in Osaka.

What is Noh?
Noh is a total art form comprised of drama, music and dance elements, that has been handed down through generations and been labeled one of the worlds oldest performing arts.

令和元年八月十一日(日・祝) 午後五時半開演

〓能〓 Okina

翁 (観世流) 面霜 善竹隆平 大鼓 山本寿弥 翁 大槻文藏 三番 善竹隆司 小鼓 上田敦史 千歳 齊藤信輔 小鼓 久田舜一郎 小鼓 清水皓祐 笛 齊藤 敦

狂言後見 善竹彌五郎 上西良介 後見 武富康之 鶴 小松勝憲 生一知哉 赤松禎友 地謡 山田 山本博通 林本 大 齊藤信隆 山本 大 山本正人

挨拶 大阪市長 松井一郎

火入れ式 大槻文藏

〓能〓 Hagoromo

羽衣 (観世流) 天人 梅若猶義 白胤 福王知登 大鼓 山本哲也 大鼓 上田 悟 瑞雲之舞 漁美 中村宣成 小鼓 成田 奏 笛 赤井啓三

後見 井戸良祐 上野雄介 梅若堯之 梅若基徳 地謡 上野朝彦 井戸和男 山中雅志 波多野晋 水田雄昭 池内光之助

〓狂言〓 Kagyu

蝸牛 (大藏流) 山伏 善竹彌五郎 主 善竹隆平 太郎冠者 上吉川徹 後見 上西良介

〓仕舞〓

難波 (金剛流) 豊嶋彌左衛門 都丸 勇 山口尚志 田中敏文 谷口正彦 中嶋謙昌

源太夫 (金春流) 金春穂高 湯本哲明 佐藤俊之 中田能光 金春飛翔

〓半能〓 Shakkyou

石橋 (観世流) 寂昭法師 広谷和夫 大鼓 辻 雅之 大鼓 上田慎也 小鼓 成田達志 笛 赤井要佑

後見 塩谷 恵 鶴 克彦 寺澤幸祐 上野朝彦 地謡 水田雄昭 小西弘通 上野朝義 齊藤信輔 大西礼久 佐野和之 勝部延和 山本麗晃 寺澤拓海

終了予定 午後八時四十五分頃

令和元年八月十二日(月・振休) 午後五時半開演

〓能〓 Gekkyuden

月宮殿 (喜多流) 龜 高林呻二 鶴 高林昌司 皇帝 高林白牛口二 從臣 喜多雅人 大鼓 守家由訓 太鼓 中田一葉 大臣 森本幸治 小鼓 荒木建作 笛 貞光智宣 從臣 中村宣成

間 官人 上吉川徹

〓狂言〓 Fukunokami 松井俊介 金子敬一郎 長田 郷 大島輝久 長島 茂 長田 郷 佐藤 陽 狩野了一

福の神 (大藏流) 福の神 善竹隆平 参詣人 上西良介 参詣人 竹内 寛 後見 善竹隆司 地謡 善竹彌五郎 薪能委員長 梅本憲史 道下正裕

挨拶 薪能委員長 梅本憲史

火入れ式 中田弘美

〓仕舞〓

大典 (観世流) 大槻文藏 山田 薫 大 典 地謡 上野雄三 赤松禎友 井戸良祐

〓能〓 Yoshinonin

吉野天人 (観世流) 天人 山下あさの 天人 前田和子 天人 立花春寿子 天人 前田飛南子 天人 赤井きよ子 里女 上野朝義 都人 福王茂十郎 大鼓 上野義雄 太鼓 中田弘美 小鼓 久田陽春子 笛 貞光訓義 天人揃 同行者 福王知登 里人 善竹隆司

〓仕舞〓 上野雄介 山中雅志 伊原 昇 上野雄三 金子 昭 松浦信一郎 今村哲朗 長山耕三

〓仕舞〓

草薙 (宝生流) 石黒実都 渡邊珪助 辰巳孝弥 辰巳二郎 畑 宏隆

高砂 (観世流) 山本章弘 永田克壬 長山耕三 梅若猶義 山中雅志

〓能〓 Tsuchigumo

土蜘蛛 (観世流) 從者 矢野昌平 大鼓 森山泰幸 太鼓 中田弘美 獨武者 喜多雅人 小鼓 清水皓祐 笛 槌矢 亮 從者 広谷和夫

間 下人 善竹隆平

後見 武富康之 上野朝彦 今村哲朗 山本章弘 地謡 伊原 昇 梅若猶義 永田克壬 山本博通 金子 昭 井戸良祐 山本麗晃 寺澤拓海

終了予定 午後八時四十五分頃

附祝言

第一日 「翁」(おきな) 「能にして能にあらず」と言われる祝言性の高い曲。翁、千歳、三番三の三人の歌舞からなり天下泰平、五穀豊穡を祈願する御代替わりの最初に最も相応しい曲。 「羽衣」(はごろも) 麗らかな春の三保の松原、天人の羽衣を拾った漁夫白龍は衣を返す代わりに天上界の舞を所望する。衣が無いと舞は舞えないという天人と、先に衣を返すとそのまま天に帰ってしまうのではないかと疑念を持つ白龍、「いや疑いは人間にあり天に偽り無きものを」天人の清らかさに打たれた白龍から衣を返してもらった天人は舞を舞い天界に帰って行きます。 本日の「瑞雲之舞」は昭和天皇即位の際宮中で演じられる為作られた梅若家にのみ伝わる小書。 「蝸牛」(かぎゅう) 主人は伯父の長寿を願う為に太郎冠者にカタツムリを取りに行くよう命じます。しかしカタツムリを知らない太郎冠者は山伏を見つけてカタツムリと勘違いしてしまいます。 「石橋」(しゃっきょう) 中国清涼山へと赴いた寂昭法師(ワキ)は文殊の浄土に掛かる石橋で文殊菩薩の使いの獅子に出会う。緊迫感溢れる雰囲気と裂帛の気分で繰り広げられる白獅子と赤獅子の勇壮な舞が見どころ。

第二日 「月宮殿」(げつきゅうでん) 新春、唐の都では四季の節会の事始めに天下泰平、国土長久を祈念し百官卿相が皇帝の長寿を祝う、やがて鶴と亀も舞を舞い、それに連れられて皇帝自らも舞楽を奏させ舞を舞います。(喜多流以外は「鶴亀」) 「福の神」(ふくのかみ) 毎年神前へ参詣している二人の前に朗らかに笑いながら福の神が現れます。福の神は二人の参詣を喜び、幸せになるようにめでたく謡い舞納めます。 「吉野天人」(よしのてんにん) 春、満開の桜の吉野山。天人が降り立ち舞を見せる。本日は「天人揃」の小書で、より華やかにご覧頂きます。 「土蜘蛛」(つちぐも) 原因不明の病に伏している源頼光の元に夜不気味な僧が現れます。僧は自分が蜘蛛の精の化身である事を仄めかし頼光に糸を投げかけ消え失せます。やがて異変を知った頼光の家来の独武者は供の者を引き連れ蜘蛛の住処である大和国葛城山にと赴き格闘の末蜘蛛の精を退治します。能の中では最も人気曲の一つ。

入場料 当日券 四、〇〇〇円 (各一日有効) 前売券 三、五〇〇円 (各一日有効) 学生券 二、〇〇〇円 (当日のみ)

入場券販売所 チケットぴあ (Pコード 786-816) 近畿日本ツーリスト (難波・上本町) 生國魂神社 ◆各出演者 ◆各能楽堂



都合により能の一部を短縮することもありますのでご了承下さい。当公演は、指定写真班を設けております。事前に許可のない方の録音及び写真・ビデオ撮影は堅くお断り申し上げます。

降雨その他の事情により演能が不可能となった場合は火入れ式終了を以てその日の薪能は成立とさせていただきます。なおこの場合、順延及びチケットの払い戻しは致し兼ねますので悪しからずご了承下さい。